



堺フェニックスロータリークラブ SAKAI PHOENIX Rotary Club

D2640

▶ 四つのテスト

～言行はこれに照らしてから～

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

地区ガバナー 久保 治雄

会長 中井 昭宏

幹事 松田 香純

会報委員長 中井 崇嗣

▶ クラブ事務所

〒590-0021
堺市堺区北三国ヶ丘町1-1-16
C-17号TEL:072-227-4990
FAX:072-227-4991例会日:毎週木曜日 18:30～
例会場:第一週・ホテル第一堺
二週目～茶房カオル<http://www.sakaiphoenix.com>

第775回例会

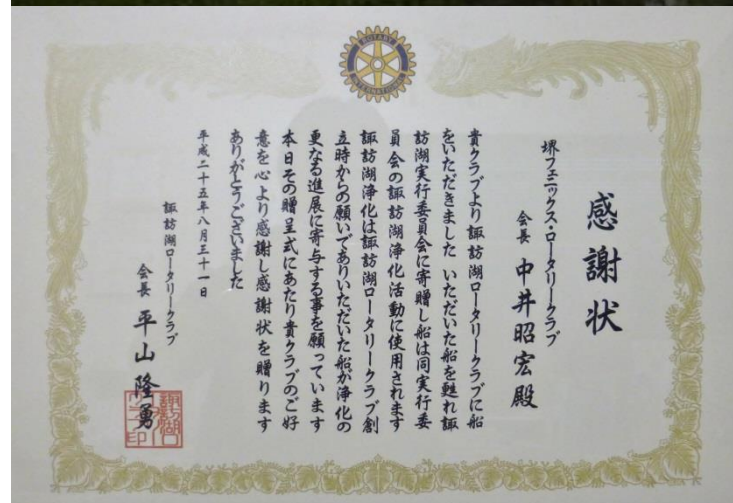
通巻741号

平成25年9月5日

2013-2014年度N o. 9

第775回 2013-2014年度 第9回目		
9月5日	18時30分	ホテル第一堺
開会点鐘	会 長 中井 昭宏	
国歌斉唱	君が代	
ロータリーソング	奉仕の理想	
ロータリーの目的唱和	奉仕委員会	中野 一郎
お客様紹介	親睦委員会委員	河野 強
国際ロータリー第2640地区 ガバナーエレクト 辻 秀和様		
	大阪千代田RC 会長	尾羽根信幸様
	岸和田東RC	雪本 孝治様
	米山記念奨学生	シュウブンさん
各種お祝い	会 長	中井 昭宏
米山記念奨学金授与	理 事	小野 晃範
会長の時間	会 長	中井 昭宏
幹事報告	幹 事	松田 香純
委員会報告	青少年奉仕委員会	内藤 絵梨奈
卓話	青少年月間にむけて 辻 秀和ガバナーエレクト	
ニコニコ報告	副SAA	濱田 由美
出席報告	副SAA	仲峯 豊
閉会点鐘	会 長 中井 昭宏	

蘇る寄贈船 フェニックス号 贈呈式



2013-14年度 RI会長 ロン・バートン(Ron D. Burton)

Engage Rotary, Change Lives

ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を





第10回米山功労者メジャードナー



本日はみなさんと、florestaドーナツを頂きました

会長の時間

中井昭宏 会長



ロータリーは3本の柱で支えられています。一つはロータリークラブです。世界各地のクラブは、それぞれ地元の地域社会に根ざして活動しています。クラブ会員（通称ロータリアン）は、交流やボランティア活動を通じて、視野を広げ、会員同士の友情や地域社会との絆を築いています。

もう一つは、国際ロータリーです。クラブでの草の根の活動に加え、ロータリーでは、プログラムやキャンペーンなどが世界中で行われています。国際ロータリーは、これらの取り組みをサポートするために、情報、方針、リソースなどをクラブに提供しています。地区もそのために存在しています。

最後の柱は、ロータリー財団です。クラブによる奉仕プロジェクトは、会員やそのほかの支援者の皆さまからの温かいご寄付によって支えられています。非営利団体であるロータリー財団は、この資金を管理し、補助金として有効に活用しています。

これがロータリーのしくみです。RIのホームページが刷新され掲載の仕方も大幅に変わりました。見やすく、わかりやすく構成されています。一度ご覧下さい。

9月は青少年のための月間です。インターアクトのプロジェクトも2つ企画されています。参加よろしく願いいたします。

今週末8月31日に蘇るフェニックス号の贈呈式に諏訪湖まで行ってまいります。結果は来週にご報告いたします。

最後に地区クラブの創立時のガバナー中村幸吉様が永眠されました。クラブより供花を致しました

幹事報告

松田香純 幹事



交通安全週間にはいるにあたり協力依頼が参っております。本日案内を回覧しております。

交通安全街頭に立っていただくのは当クラブは今回9月20日金曜日、堺東駅前朝7時45分～8時半までです。少しのお時間でも結構です。多くのクラブ会員様のご参加、ご協力よろしくお願ひします。

実施場所：堺東駅前

担当警察署：堺署

実施内容：通勤、通学者等への交通安全啓発品チラシ等の配布

※ 雨天中止となります

理事役員は9月5日理事役員会を17時30分よりホテル第一堺にて開催致します。

委員会報告

クラブ研修リーダー
中井 崇嗣



昨年度より継続いたしました堺フェニックス勉強会を開催いたします。9月より開始したいと思っておりますので、詳細が決まり次第お知らせいたします。



クラブフォーラム



青少年奉仕委員長 内藤絵梨奈 様

来月9月は「青少年のための月間」に指定されています。

「各ロータリアンは青少年の模範」

当クラブが今まで行ってきた青少年奉仕の機会を振り返り、復習を兼ねて、今一度、学習を深める機会としてフォーラムを開催いたします。

「新世代」という言葉は、ルイス・ビセンテ・ジア元RI会長が初めて使用され、若い人々にロータリーのプログラムと活動にもっと参加してもらうことこそ、ロータリーの将来を確かなものとするためのカギであると信じていました。

1996年のカルガリーRI国際大会にて元会長は「成功と失敗を分かつ要素は、未来への投資です。今日から、未来を築き始めようではありませんか」と、述べました。

青少年奉仕では、クラブ奉仕、社会奉仕、国際奉仕プロジェクトにおける青少年や若者の参加を促進し、こうした世代の支援を目的としたプログラムをクラブが積極的に提供していく事が重要であるとも述べられています。

青少年奉仕はRIロータリーの常設プログラムとして奉仕の機会に位置づけられています。

RIロータリーの常設プログラムとしては

- ①インターアクト
- ②ロータリー青少年交換
- ③ロータリー青少年指導者養成プログラム(RYLA)
- ④ローターアクト
- ⑤ロータリー地域社会共同体(RCC)
- ⑥ロータリー友情交換⑦世界ネットワークグループの7つがあります。

この常設プログラム、および奉仕の機会は、ロータリアンがそれぞれの地域社会におけるニーズに応え、また世界中の人々を支援する目的で設置されています。

①インターアクト 奉仕と国際理解に貢献する世界的友好精神の中で共に活動する機会を青少年に与えるために結成される。インターアクトクラブに入会できるものは年齢12歳から18歳までの若い人である。

②ロータリー青少年交換 年齢15歳から19歳までの青少年に母国以外の国を訪問したり、そこに留学したりする機会を提供するRI常設プログラムである。

- ・長期交換プログラムは、学生に1学年度海外に留学する機会を与える。
- ・短期交換プログラムは、学生に数週間程度の外国訪問の機会を与える。
- ・青少年交換は、18歳から25歳までの若者に、最長3か月の外国訪問または留学の機会を与える

③ロータリー青少年指導者養成プログラム(RYLA) 14歳から18歳までならびに19歳から35歳までの若い人のためのRI常設プログラムのひとつ。若い人々の指導力および善良な市民としての資質を伸ばす事を目的としている。

④ローターアクト 若者が個々の能力の開発に当たって役立つ知識と技能を身につけ、それぞれの地域社会における物質的、社会的なニーズに取り組み、親睦と奉仕活動を通じて全世界の人々の間により良い信頼関係を推進するための機会を提供するものである。提唱ロータリークラブの近隣地域内に居住、または就職、就学している18歳から35歳までの若者によって構成される。

⑤ロータリー地域社会共同体(RCC) 地域社会の改善に努める、ロータリアン以外の人々の集まりです。76か国に6400以上のRCCがあり、すべてのロータリークラブによって組織、支援されている。

⑥ロータリー友情交換 ロータリアンとその家族が他国のロータリアンとその家庭を互いに訪問、滞在し、異文化をじかに学び合う交流活動である。

⑦世界ネットワークグループ ロータリー親睦グループとロータリアン行動グループが含まれ、ロータリアン、ロータリアンの配偶者、ローターアクトなら誰でも参加する事ができ、約90の世界ネットワーク活動グループがある。

各ロータリアンの責務は、年齢35歳までの若い人すべてを含む青少年の多様なニーズを認識しつつ、よりよき未来をもたらすために青少年の生活力を高める事によって、青少年に将来への準備をさせることである。

基本的ニーズとは、健康、人間価値、教育、自己開発である。青少年のためのRI常設プログラムには、上記の中の①～④が存在する。

上田会員、岡田会員、片木会員、小野会員の当クラブでの今まで行ってきた青少年奉仕について教えてくださり、実際の活動について貴重なご意見、大変参考になりました。

今回のフォーラムにあたり、改めて知識を深める機会となりましたこと、感謝申し上げます。

にこここ報告

中井 昭宏 会長

上田敏夫様、米山第10回メジャードナーおめでとうございます。本日のクラブフォーラム、内藤会員ありがとうございました。

今週末諏訪湖RCへフェニックス号の贈呈式に行つてまいります。

中井 崇嗣 会長エレクト

上田先生おめでとうございます。
内藤さん本日はクラブフォーラムよろしくお願ひします。

犬伏 幸代 会員

先週は勝手しましてすみません。中野会員様ご苦勞さまでした。
本日は内藤会員さまお世話になりますが不勉強ですみません。

上田 俊夫 会員

米山メジャードナーになりました。

内藤 絵梨奈 会員

今日はクラブフォーラム担当させて頂きました。皆様ご協力ありがとうございました。

吉川 美幸 会員

欠席ばかりですみません。
皆さんの顔を拝見して元気を頂きます。

松田 香純 幹事

本日は内藤会員のクラブフォーラム楽しみです。
8月31日諏訪湖RCへ清掃用ボート贈呈式へいってまいります。台風がこないことを祈ります。



平成25年9月4日に初芝立命館中学高等学校
高等部インターアクトクラブにペットボトルキャップを50,000個届けました。

出席報告

在籍者	32名	出席者	25名
出席計算会員	31名	欠席者	10名
出席免除会員 (小林)	1名	免除出席者	0名
先々週修正出席率	93.55%	出席率	67.74%

欠席報告 (8月29日)

米田 眞理子	出張のため	Make-up済
濱田 由美	仕事のため	Make-up済
山田 真樹	診療のため	
金谷 昌信	仕事のため	
仁木 順子	仕事のため	
山本 加容子	仕事のため	
中野 一郎	仕事のため	
河野 強	仕事のため	
酒井 誠	仕事のため	
松本 美和子	療養のため	

Make-up報告

京谷 知明	23日	堺東南RC
米田 眞理子	31日	諏訪湖RC 贈呈式
中井 昭宏	31日	諏訪湖RC 贈呈式
松田 香純	31日	諏訪湖RC 贈呈式
上田 俊夫	31日	諏訪湖RC 贈呈式
京谷 知明	31日	諏訪湖RC 贈呈式
岡田 正一	31日	諏訪湖RC 贈呈式
仲峯 豊	31日	諏訪湖RC 贈呈式
濱田 由美	31日	諏訪湖RC 贈呈式

蘇る寄贈船 フェニックス号

諏訪湖RCの贈呈式参加者 仲峯 豊

8月31日諏訪湖RC様有志の方々が主催の、船:フェニックス号の贈呈式に参加してまいりました。正午に直前ガバナー事務所を出発し、諏訪湖に到着したのは16時。

参加者は中井昭宏会長・松田幹事とご令嬢・米田奉仕プロジェクト委員長・岡田クラブ管理委員長・上田会員とご令室・京谷会員・濱田会員の合計10名です。

到着時にまず7月25日に届けた船:フェニックス号の確認のために、諏訪湖岸へ参りました。既に諏訪湖RCの有志の方々が贈呈式準備中あり、贈呈式を執り行う会場になる『白鳥号』を見学、その後、上諏訪駅で足湯につかり、宿泊ホテルに直行しました。

再度18時から白鳥号に集合、乗船し、贈呈式が始まりました。

船内で両会長の挨拶に始まり、美味しい食事の数々、船上でのBBQそして、湖岸の花火を船上から見学。少し雨に見舞われましたが、涼しい船上での会食、花火見物は素晴らしかったです。米田奉仕プロジェクト委員長の万歳三唱で終わりました。友好を深め、有意義な船の贈呈と、感動的な時間でした。

中井会長が諏訪湖RCからの感謝状を受け取り、お土産にと持参した泉州の水ナスをたくさんお渡しし、お開きとなりました。

翌日は、電車帰阪組は先に出発。その後「タケヤ味噌本社ならびに味噌会館」を訪問し、美味しい豚汁、ゴマ味噌ソフトクリーム、数々の味噌を試食し、高島城の見学、さらに諏訪湖全景を一望し、帰路につきました。9月1日16時に無事帰阪しました。

次回は是非、諏訪湖を美しくするフェニックス号の活躍を見学に、諏訪湖へ皆様と訪問したいです。





味噌の旨味を作り出す麹

麹のすごいところは、なんといっても食べ物旨味を作り出す点にあります。麹菌が繁殖して菌がだす酵素が周りの蛋白質を分解して旨味を作るのです。



麗人の如き酒を醸したいとの願いから銘々。諏訪の酒なら「麗人」と評価が高い



大正天皇即位の大典を記念して銘々。



平家物語より平重盛家臣滝口入道と建礼門院官女横笛との悲恋にあやか って銘々。



諏訪大社の宝物『真澄の鏡』にあやかって銘々。



高島城（たかしまじょう）

長野県諏訪市高島にあった城である。別名は諏訪の浮城や島崎城と呼ばれている。城郭の形式は連郭式平城である。かつては諏訪湖に突き出した水城で「諏訪の浮城（すわのうきしろ）」と呼ばれていたが、江戸時代初めに諏訪湖の干拓が行われ、水城の面影は失われた。しかし、浮城の異名を持っていたことから日本三大湖城の一つに数えられている。

諏訪湖はかつて非常に水質のよい湖であり、江戸期には琵琶湖や河口湖から蜆が放流され漁業も行われていた。しかし、戦後の高度経済成長期にかけて生活排水などにより湖の富栄養化が進み、水質が悪化した。1979年（昭和54年）から一部供用開始し1993年（平成5年）全市町村共用となった流域下水道の整備事業などや市民による水質改善活動の結果、大幅に水質が改善されているが、昭和初期の姿を取り戻すまでには至っていない。



約250年前の昔。宝暦6年（1756年）、野沢温泉村の名利・健命寺の八代目住職・晃天園瑞和尚が京都へ遊学。村へ帰る時に、その頃関西地方で漬物として食べられていた天王寺蕪の種子を持ち帰り、境内の畑へ蒔いてみた、蕪よりも茎と葉が大きく大きくなってしまった。村人はこれを『お菜』と呼んで栽培、漬け菜として使うようになり、今では長野県内はもとより全国的にも有名な野沢菜漬けになった。温暖な西国生まれの天王寺蕪が、標高600m、冬の平均気温が零度6度という野沢温泉の気候で突然変異が起こって野沢菜が生まれ、特産になりました。本場の野沢菜は『三尺菜』とも言われるように、長さが1mにも及びます。

